

公立大学法人大阪府立大学 平成 17 事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

ページ数は「平成 17 事業年度の業務実績に関する評価結果」に対応

1. 年度評価の考え方 (1 ページ)

「公立大学法人大阪府立大学の年度評価の考え方」  
(17 年 12 月評価委員会決定)に基づき実施

- ・公立大学法人の年度評価を踏まえつつ、大学改革の実現、教育研究の特性、公立大学としての地域における役割などを考慮して評価を実施
- ・項目別評価と全体評価を実施。業務実績の事実確認、法人からのヒアリングを通じて、法人の自己評価・点検の妥当性の検証と評価を実施。
- ・「教育研究等の質の向上」については、教育研究の特性を踏まえ、専門的な観点からの評価は行わず、進行状況の確認にとどめた。

3. 大項目評価の結果 (5 ~ 15 ページ)

S 評価	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
特筆すべき 進行状況	計画どおり	おおむね 計画どおり	やや遅れて いる	重大な改善 事項あり

業務運営の  
改善及び効率化

S

A

B

C

D

その他業務運営

財務内容の改善

3 - 4 その他の業務運営(12 ページ)

下記のことを総合的に考慮して、A 評価「計画どおり進捗している」と判断

小項目の集計結果は 22 / 22 となり A 評価  
事業着手の早期化、コスト削減、資金需要の平準化のための施設整備スキームを確立した

3 - 3 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供 (10 ページ)

下記のことを総合的に考慮して、A 評価「計画どおり進捗している」と判断

小項目の集計結果は 9 / 9 となり A 評価  
自己点検・評価システムの具体化に向けた準備が着実に進められている

3 - 1 業務運営の改善及び効率化 (5 ページ)

下記の点を総合的に考慮して、A 評価「計画どおり進捗している」と判断

小項目の集計結果は 36 / 37 となり B 評価  
小項目評価 (計画を上回って実施している)の項目が 6 項目と多い  
理事長のリーダーシップを活かした取り組みが着実になされ、その結果として、目標を大きく上回る外部研究資金獲得などの成果があった

3 - 2 財務内容の改善 (8 ページ)

下記の点を総合的に考慮して、A 評価「計画どおり進捗している」と判断

小項目の集計結果は 16 / 17 となり B 評価  
外部研究資金について年度計画の目標 (前年度比 5% 増) を大幅に上回る獲得 (同 30.8% 増) があったほか、人件費や一般経費の削減についても計画以上の成果があった  
小項目評価 (計画を十分実施できていない)の項目について、法人運営に重大な支障を及ぼすような進捗の遅れとは認められない

3 - 5 大学の教育研究等の質の向上 (14 ページ)

教育、研究及び社会貢献のいずれの分野においても、全体的に計画どおりに進捗しており、教育研究に関する活動が着実に行われるとともに、その質的向上が図られていることを確認(この項目については進捗状況の確認のみ)

2. 全体評価の結果 (2 ~ 4 ページ)

「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」及び「その他の業務運営」の 4 項目について、A 評価(計画どおり進捗している)であった。(特に、「財務内容の改善」については、外部研究資金の獲得等においてめざましい成果があったことから、S 評価(特筆すべき状況にある)の妥当性も検討した経過あり。)また、「教育研究等の質的向上」についても「計画どおり進捗している」ことを確認した。

以上の大項目評価の結果に加え、法人の基本的な目標、17 年度の重点的な取組などを総合的に考慮して...

<全体評価の評価結果>

「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」